資料4－3

ファルマバレーセンターの取組み

Pharma Valley Initiatives

平成25年8月

公益財団法人静岡県産業振興財団

ファルマバレーセンター

富国有徳の理想郷－しずおか

ふじのくに

静岡県の新産業クラスターの推進

地域の特色を活かした静岡県内の3つのクラスター

ファルマバレー
PHARMAVALLEY

フーズ・サイエンスヒルズ
FOOD SCIENCEHILLS

フォトンバレー
PHOTONVALLEY

ファルマバレー
（医療・健康関連産業）

東部

中部

西部

フーズ・サイエンス ヒルズ
（食品関連産業）

フォトンバレー
（光・電子技術関連産業）

ファルマバレープロジェクトの推進

プロジェクトのあゆみ

平成14年静岡がんセンター開設
第一次戦略計画（5年間）
平成15年ファルマバレーセンター開設
平成17年静岡がんセンター研究所開設
平成19年第二次戦略計画（4年間）
平成23年第三次戦略計画（10年間）
平成24年　ふじのくに先端医療総合特区認定

基本理念

「世界一の健康長寿県の形成」
「健康増進・疾病克服」と「県民の経済基盤の確立」を両輪として施策を推進

基本方針

戦略1　ベッドサイドのニーズに応える“ものづくり”
戦略2　医療と産業を担う“ひとづくり”
戦略3　健康サービスが充実し高次都市機能が集積した“まちづくり”
戦略4　世界展開の推進

プロジェクト参加機関

産　商工会議所・商工会

学　国立遺伝学研究所
沼津工業高等専門学校

静岡がんセンター

約500社超の企業群ネットワーク

官　県・東部市町

金　銀行・信用金庫
政府系金融機関

プロジェクト推進・支援機関
ファルマバレーセンター・静岡県庁

首都圏理工系大学との連携

東京工業大学

東京農工大学

早稲田大学

慶應義塾大学

ファルマバレーセンターの組織

・公益財団法人静岡県産業振興財団に所属

職　員　数　34名（平成25年度）

所　　長　1名（商工団体派遣）　名誉所長　1名（非常勤）

企　画　部　24名（県3名、三島・裾野市・商工団体、金融機関派遣各1名、地域連携コーディネーター5名、技術コーディネーター1名（非常勤）、プロパー3名、任期付職員7名、非常勤職員1名）

治験推進部 8名

（県3名、任期付4名、派遣1名）

地域の中小企業を支えるスキーム①

開発テーマ発掘と企業のマッチング

○開発テーマの収集と実現化検討
○可能性調査事業による試作

製 品 化 の 支 援

○静岡新産業集積クラスター事業化推進 事業費補助金
○総合特区調整費
（課題解決型医療機器開発支援）

医療現場のニーズ収集及び試作 → 中小企業の技術力向上 → 医療機器開発臨床試験 → 製品化

人 材 の 育 成

○中核技術者の養成
○経営者・管理者向けセミナーの開催

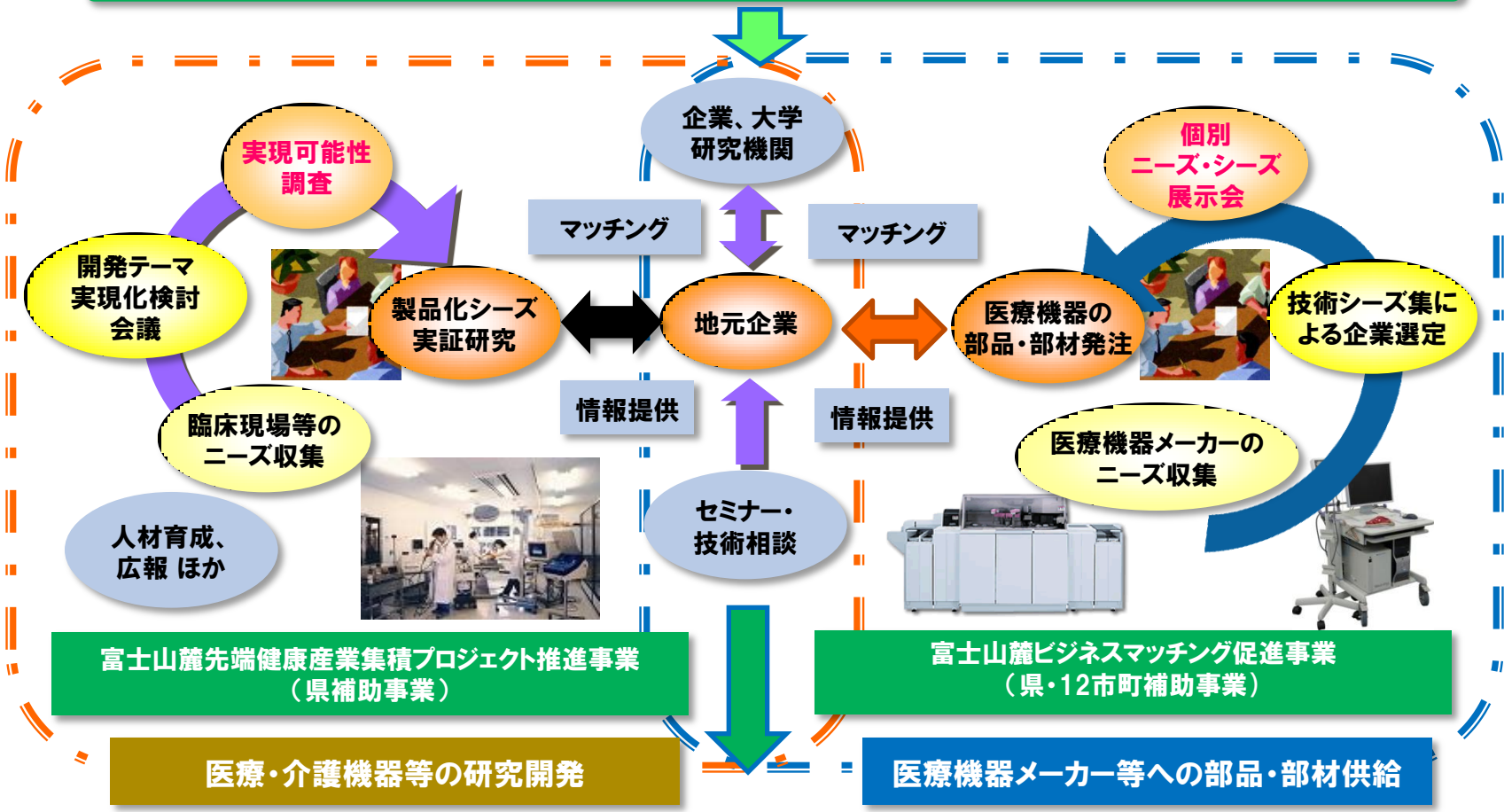
販路拡大（開拓）の支援

○医療機器展示会への出展
○医療機器メーカー・団体とのマッチング
○医療分野での開発・改良製品販路開拓トライアル事業

地域の中小企業を支えるスキーム②

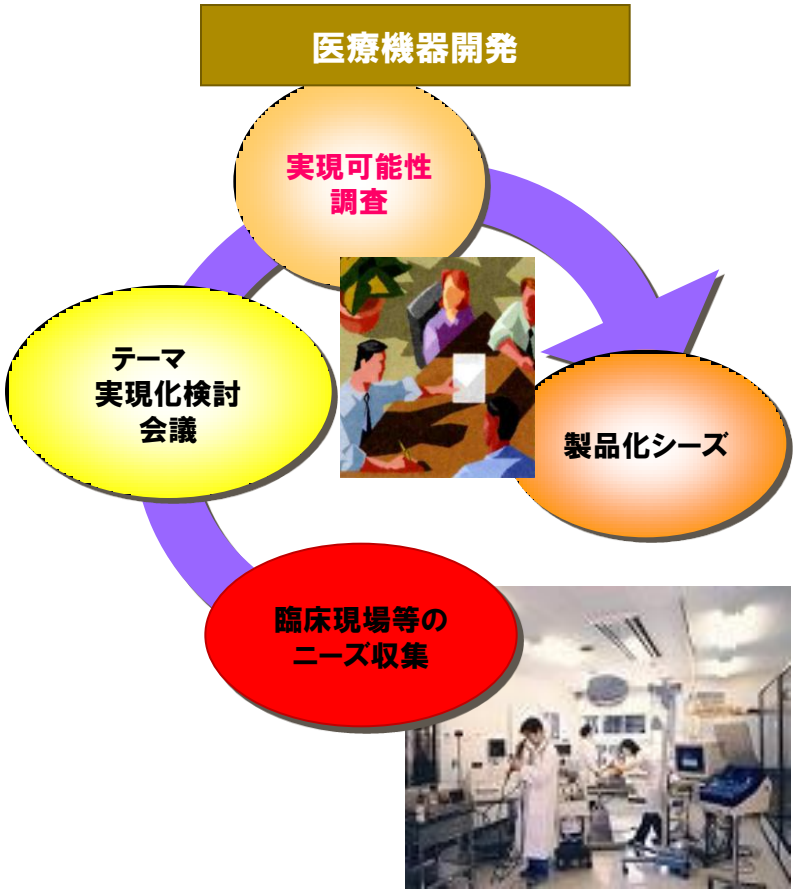
コーディネータ

①企業のニーズ・シーズ訪問調査　②技術の目利き　③ニーズ・シーズのマッチング



- ●医療機器開発・製造に携わる地域企業の増加、医療機器製造・販売業資格の取得促進
- ●医療機器製造の下請けや、医療機器の部品・部材供給を通じ、地域企業の医療・介護機器分野への参入促進
- ●医療機器メーカー等の誘致促進のための下地づくり（医療機器・部品製造のメッカ）

研究開発ニーズ収集と支援システム（医療機器等開発）



富士山麓先端健康産業
集積プロジェクト推進事業
（県補助事業）

医療現場のみなさまへ

あなたのアイディアを教えてください！

- 日々の業務で「困ったな」「不便だな」「こんなモノがあったらいいな」「こうだったらもっと使いやすいのに」と思ったことはありませんか？
- ファルマバレーセンターでは 医療現場に役立つアイディアを“カタチ”にするお手伝いをしています
- 患者様のQOL向上、業務効率UP、作業負担の軽減などに役立つアイディアがあれば ぜひお聞かせください！

■アイディアがカタチになるまで

■ 開発事例

〈発案者〉
国際医療福祉大学
熱海病院
種市看護師長
杉山看護師
〈企業〉
山本被服㈱
〈説明〉
チューブ類自己抜去防止のためのミトン付着衣。

ミトン付着衣「あたみとん」

〈発案者〉
富士宮市立病院
高野臨床工学技士
〈企業〉
㈱テクノサイエンス
〈説明〉
これまで手動で行なっていたカフ圧管理を自動で制御。

気管内チューブカフインフレータ
「カフスキャッツ」

■「医用機器開発テーマ実現化会議」であなたのアイディアの実現化をサポートします！
（技術、知財、薬事、医療、マーケットの専門家がより早く確実にアイディアを実現化するため進め方を検討します）

【連絡先】ファルマバレーセンター企画部　mail: kikaku@fuji-pvc.jp
TEL:055-980-6333 FAX:055-980-6320　駿東郡長泉町下長窪1007静岡がんセンター研究所1F

研究開発ニーズ収集と支援システム（医療機器等開発）

富士山麓先端健康産業
集積プロジェクト推進事業
（県補助事業）

名称：医用機器開発テーマ実現化会議
目的：県内中小企業を対象に医用機器等の開発、製品化の推進

【メンバー構成】

- 沼津高専（電子・制御・金属加工等）
- 東海大学（医用生体工学）
- 静岡県工業技術支援センター（沼津）
- 静岡がんセンター(看護師)
- 静岡がんセンター研究所（医師、研究者）
- 薬事アドバイザー（医療機器）
- 医療機器メーカー（市場調査）
- 特許事務所
- ファルマバレーセンター　等

研究開発ニーズ収集と支援システム（医療機器等開発）

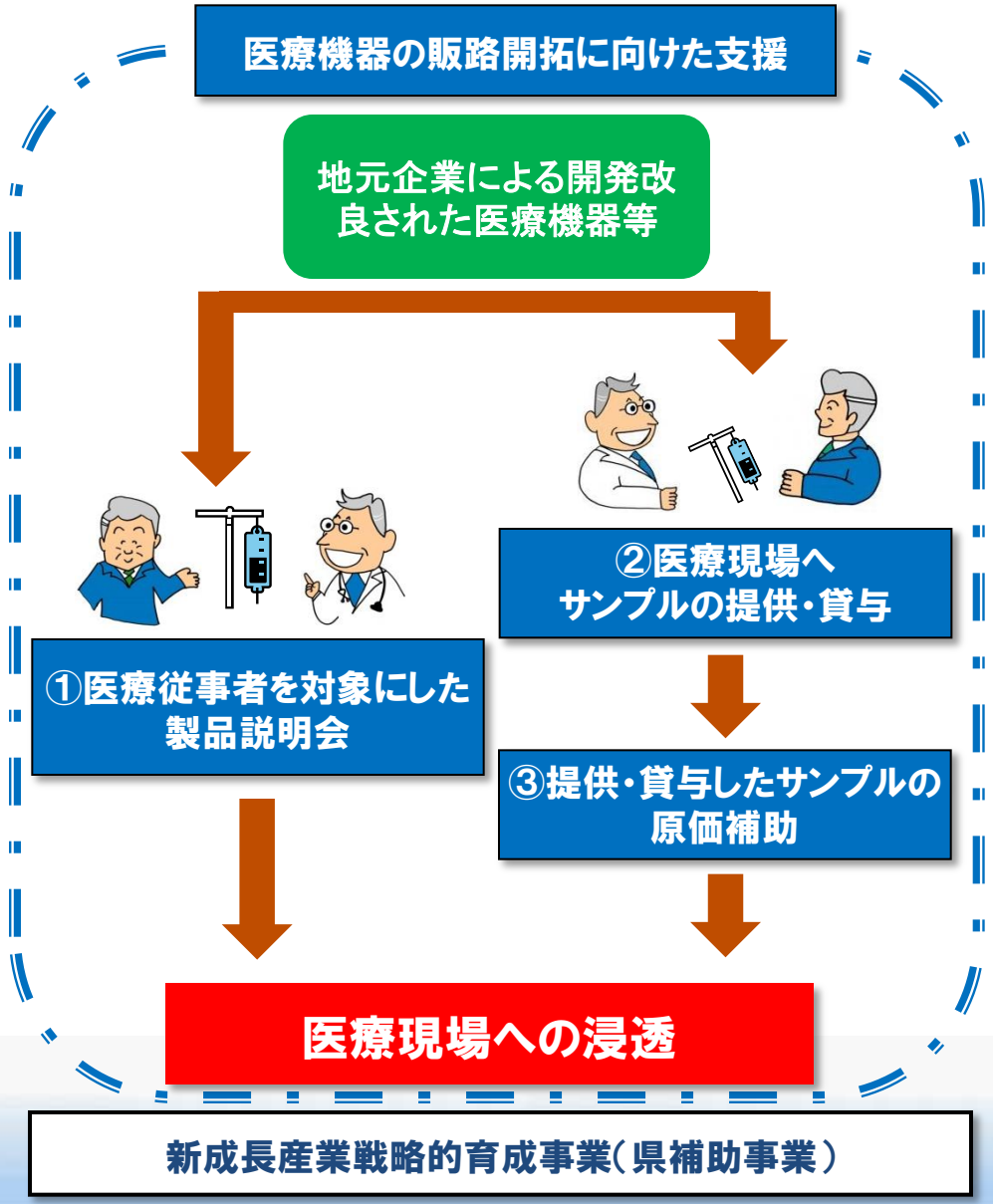
富士山麓先端健康産業
集積プロジェクト推進事業
（県補助事業）

医用機器開発テーマ実現化会議において開発に向け採択されたテーマは、実証試作が可能と思われる研究者等に研究委託する。

平成25年度予算　600万円
目標のテーマ件数　6件／年
1件上限120万円で大学、研究機関、病院、地域企業等と委託契約を結び、試作品等を製作する。

試作された成果品は、再度市場性等を調査し、可能なものは、商品化を目指してもらう。
（医療機器製造業許可、医療機器製造販売業許可の有無を考慮する。）

販路開拓支援（医療分野での開発・改良製品販路開拓トライアル事業）



●製品説明会

開発・改良した医療機器等を製造する県内の中小企業者の製品等を、医療従事者および医療機器販売業者等に紹介し、マッチングの機会を設けるとともに販売チャンネルの確立を目指す。

●展示法は医療機器メーカーの要望に合わせ、複数社合同（20社前後）での実施のほか、1社ごとの個別面談方式で実施している。

●展示後、再度の個別面談や企業訪問等を実施してもらい、具体的な商談に結び付ける。

＜平成24年度実績＞
平成24年12月18日
静岡市で開催　出展企業　15社
来場者　約50名（医療従事者、販売業者、一般）

●サンプルの原価補助

医療従事者等からサンプルの提供依頼があった場合は、その原価の一部を補助することで販路開拓を促進する。

● 補助率：製品1個あたりの製造原価の2／3

● 補助限度額：1企業30万円

＜平成24年度実績＞

7企業＝8品目を医療機関にサンプル提供

ふじのくにの宝物

227

株式会社 ダイワ・エム・ティ

非鉄金属製造業

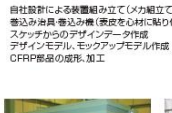
創業96年、自動車開発業務で養った技術と経験で様々な分野に挑戦し、
高い評価を頂いています。

保有技術

- ●大型5軸マシニングセンターによる難切削加工
- ●真空成形型、プレス成形型の製作
- ●量産用専用機の設計、製作
- ●デザインモデル、デザインデータの作成
- ●CFRP製品の成型型製作
- ●CFRP製品の機械加工

製品・技術の特徴

自社設計による装置組み立て（メカ組立て・配線・調整・試験）
巻込み治具・巻込み機（表皮を心材に貼り付ける専用機械）
スケッチからのデザインデータ作成
デザインモデル、モックアップモデル作成
CFRP部品の成形、加工


巻込み機

モノコック（CFRP）

クルーザー（樹脂）

《許可・認証》 ●ISO9001

企業概要

企業名
株式会社ダイワ・エム・ティ

代表者
代表取締役社長　和久田恵子

所在地
〒417-0801
静岡県富士市大渕 539

電　話　0545-35-0350

ファックス　0545-35-0466

ホームページ
http://www.daiwa-mt.co.jp

資本金　10,000,000円

問い合わせ先

担当者　代表取締役社長
和久田恵子

電　話　0545-35-0350

メール
wakuta@daiwa-mt.co.jp

228

東洋レヂン 株式会社

医療機器製造業

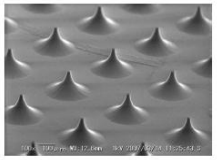
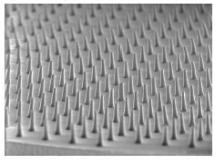
各種樹脂原料の着色加工から、金型設計・加工、微細成形を得意としています。

保有技術

- ○各種プラスチック原料の着色加工
- ○精密射出成形

製品・技術の特徴

【製品名】　「ソマセプト」「ソマレゾン」
【使用目的】　精密医療機器
【材料】　プラスチック
【加工精度】　微細成形
【説明】　量産化ができる微細成形技術

《許可・認証》 ●ISO13485（比奈工場）　●22972000027（医療機器製造業許可）（比奈工場）

企業概要

企業名
東洋レヂン株式会社

代表者
代表取締役　井出浩昭

所在地
本社
〒419-0201 静岡県富士市厚原 2104-1
比奈工場
〒417-0847 静岡県富士市比奈 1929-2

電　話　本社 0545-71-2023

ファックス　本社 0545-71-8429

ホームページ
http://www.resin.co.jp

資本金　16,000,000円

問い合わせ先

担当者　管理部
滝　謙一

電　話　0545-71-2023

メール
k-taki@resin.co.jp

129

開発設計・実装・組立
電子部品・デバイス
金属等・材料・加工
樹脂等・材料・加工
表面処理
ソフトウエア
その他

プロジェクトから産まれた数々の製品

ベッドサイドニーズに応える研究開発（累計50件以上の成果品）

◆基礎研究の成果を製品開発につなげる「トランスレーショナルリサーチ」

インフルエンザ診断キット
㈱ビーエル
東京工業大学
沼津高専

分光分析法を用いた
非侵襲的皮膚がん診断装置
静岡がんセンター
早稲田大学
三鷹光器㈱

◆患者・医療のための「ニッチ技術の開発」

チューブ類自己抜去防止のため
のミトン付き着衣“あたみとん”
国際医療福祉大学熱海病院・
山本被服㈱

カフ圧測定制御装置
富士宮市立病院
㈱テクノサイエンス
㈱スカイネット

◆企業のための「新機種開発」

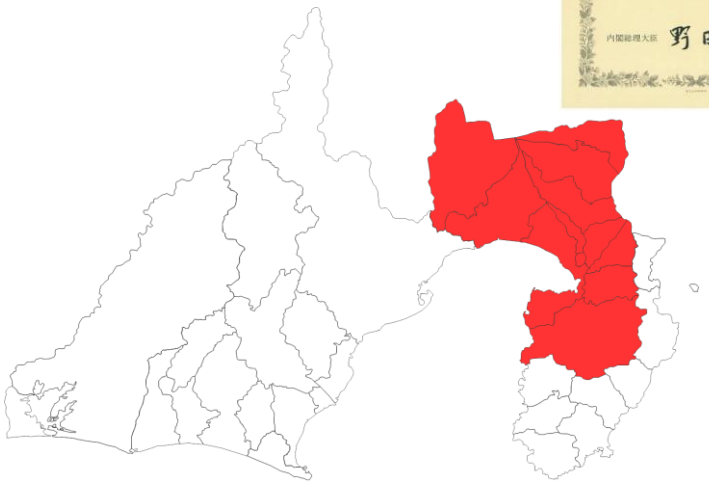
低刺激口腔ケアセット
静岡がんセンター
（社）静岡県歯科医師会
㈱サンスター

類似症例検索システム
「SYNAPSE Case Match 」
静岡がんセンター
富士フイルム㈱

ふじのくに先端医療総合特区

概　要

対象区域：静岡県東部12市町
期間：平成23年から27年（5年間）
目標：①がん医療の飛躍的発展
　　②医療産業クラスター形成による
　　地域企業の活性化と雇用創出
期待される効果：経済効果　2,200億円
　　雇用創出　5,000人



総合特区計画認定（平成24年3月）

財政支援
（課題解決型医療機器開発）

金融支援
（利子補給）

規制緩和
（緩和措置）

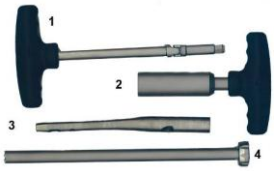
3つの支援を活用して特区事業を推進

財政支援（24年度の実施内容）

医療現場の課題を解決する医療機器等の開発を支援するため、23年度総合特区推進調整費を活用して、経済産業省「課題解決型医療機器の開発・改良に向けた病院・企業間の連携支援事業」として約1億円の予算を獲得。2開発テーマを実施した。

テーマ1	臨床画像診断の行き詰まりを解決するハイパースペクトルイメージャーを応用した新規診断支援システムの開発
共同体参加者	早稲田大学、㈱ヒューマン・エンジニアリング、大場機工㈱、三鷹光器㈱、静岡がんセンター
テーマ2	高生体適合性（カスタムメイド）インプラントの上市を目指した研究開発
共同体参加者	東海部品工業㈱、（独）産業技術総合研究所、（一財）日本人工関節研究所、玉名中央病院

▲皮膚がん診断支援装置



▲インプラントと専用術具

財政支援（25年度の実施内容）

●24年度総合特区推進調整費を活用して、経済産業省「課題解決型医療機器等開発支援事業」として、約１億4,500万円を獲得。新規1、継続2開発テーマを実施する。

実施テーマ	•ミキサー食注入装置の研究開発（新規） •高生体適合性（カスタムメイド）インプラントの上市を目指した研究開発（継続） •臨床画像診断の行き詰まりを解決するハイパースペクトルイメージャーを応用した新規診断支援システムの開発（継続）

プロジェクトの今後

・ファルマバレー構想策定（平成13年度）以来、10年の取組で始動期として一定の成果。
・今後は、さらに活動を加速させ、発展期への転換を図る。

平成13年

第1次、2次戦略計画

現　在
（始動期・成長期）

第3次戦略計画
総合特区、拠点整備

今　後
（自律的発展期）

ファルマバレー構想策定

世界レベルの高度医療・技術開発を目指した
・研究開発
・医療関連産業振興・集積

始動期として一定の成果

産学官金のネットワーク構築
静岡がんセンターの高度な診療、研究開発
50を超える新製品開発支援
地域企業医療分野への参入

これまでの成果を活かし更なる発展

高度な診療、研究成果を活かした技術・製品の開発
研究開発を支える支援体制の強化
関係者の自発的交流による新たなアイデアの創出
製品の世界への情報発信、売り込み
高度な研究者や企業が集まる魅力ある地域づくり

Fuji Pharma Valley
ご清聴　ありがとうございました